

平成29年度一般財団法人古河市地域振興公社事業報告

事業概要

平成29年度は、指定管理事業及び受託事業につきましては、ますます多様化する利用者ニーズに効果的に対応すべく、限られた経営資源の中でコストパフォーマンスに配慮した効率的な予算執行を心がけながら、古河市に対する企画提案や計画的な修繕等を実施し、安全で安心な管理運営に努めてまいりました。

また、緑化推進事業につきましては、「ハナモモ苗木配付」が古河市の事業として廃止となったことにより、生垣設置費補助事業のみの執行となりました。

一方、古河市外郭団体の合理化を図るため「一般財団法人子ども・子育て支援財団」との合併を古河市から提唱され、それに係る事務手続きや組織機構の改編、ネットワークシステム等のインフラ整備を経て、平成30年4月1日付での合併を無事に完了いたしました。

平成29年度の事業の主な成果は以下の通りです。

1. 全事業共通事項

- ① 各種法令、基本協定の履行につきましては、コンプライアンスに努めた結果、基本協定に基づく市のモニタリングに際して、特段の指摘はありませんでした。
- ② 個人情報の管理の徹底につきましては、ネットワークシステムの総合的な安全対策のため、最新鋭のセキュリティシステムの導入を検討し、平成30年度での実施に向けて予算計上をいたしました。接客対応の向上につきましては、専門講師による職員研修を実施し、施設管理及び窓口業務が市民サービスの最前線にあることを改めて再認識するとともに、コミュニケーションスキルの一層の習得に努めました。

2. 指定管理事業

(1) 総合公園管理運営事業

① 駐車場利用料（桃まつり）について

花桃につきましては、昨年度より2週間程遅い3月12日の開花宣言となりましたが、3月中旬から下旬にかけて気温の上昇が続き、桃まつり期間中盤は十分に桃を鑑賞して頂くことが出来ました。しかしながら、開催初日から3日ほど天候不良により来園者が少なかったことや、開催期間が昨年より2日間少なかったこともあり、前年度より1,276千円減の9,398千円となりました。

② 安全で安心な園内環境の維持管理について

- (ア)お年寄りや車椅子の方でも安全に散策できるよう、園路やスロープを整備しました。
- (イ)目洗弁天池の手摺及び遊歩道の補修を行いました。
- (ウ)地盤沈下等により生じた二入川の亀裂の修繕を実施いたしました。
- (エ)老朽化及び凍結等により生じたポンプや配管等の不具合について修繕を実施いたしました。
- (オ)園内管理に使用している乗用芝刈機が経年劣化により使用不能となったため更新しました。

③ 利用規則の周知と保安の強化について

- (ア)案内看板を景観に配慮したものにリニューアルし、改めて利用規則の周知を徹底しました。
- (イ)車両による巡回のほか、徒歩によるこまめな巡回を行いました。
- (ウ)不審者対策として、鴻巣交番との連携を深め、巡回強化を引き続き要請しました。

④ 桃まつり期間中の駐車場管理について

- (ア)料金徴収業務はシルバー人材センターで行い、警備業務は専門の警備会社に委託しました。これにより大きなトラブル等もなく、スムーズな運営を行うことが出来ました。
- (イ)渋滞緩和及び駐車場空きスペース等の確認を迅速に行うため無線機を使用し、スムーズな車両の誘導につなげました。
- (ウ)駐車場内に仮設トイレを10台設置し、トイレの混雑緩和に努めました。

⑤ イベント等への協力について

桃まつりやよかんべまつり等への協力は勿論のこと、古河市フィルムコミッション事業にも積極的に協力いたしました。

(2) ネーブルパーク管理運営事業

① 通常営業について

各施設における利用状況は、次のとおりとなりました。

(ア)キャビン・バーベキュー広場

利用人数は23,132人、前年度に対し916人の減、利用料は25,531千円、前年度に対し695千円の減となりました。

(イ)軽食販売

軽食販売事業につきましては、昨年同様に年末年始の営業や季節に応じたメニュー変更など、利便性の向上及び販売の促進に努め、前年度より2,082千円増の34,179千円の売上げとなりました。

(ウ)ポニー牧場

引き馬につきましては、安全性確保のための実施場所の変更等により、利用者は前年度より4,264人減の12,010人、利用料は458千円減の1,237千円となりました。一方で厩舎見学者数が増加したことなどにより、人参販売売上は前年度より267千円増の1,234千円となりました。また、ポニー乗馬クラブには2,183人、障がい者乗馬（ネーブルの会）には294人が参加しました。

(エ)平成館

研修棟、宿泊棟の利用者（宿泊者、研修者合計）は、29,418人、前年度に対し3,122人増、利用料は23,

814千円、前年度に対し702千円増となりました。また、レストラン売上収入は20,488千円、前年度に対し165千円減となりました。

(オ)その他の園内施設

工芸館、釣り堀、地下迷路を合わせた利用者は、前年度より1,755人増の47,861人、利用料は前年度より682千円増の8,632千円となりました。また、ミニS Lは、利用件数は前年度より1,132件減の20,627件、利用料は226千円減の4,125千円になりました。

②自然とアミューズメント機能が調和した公園づくりについて

(ア)花と緑豊かな園内環境を維持するために、サルビア等6,500株、パンジー5,000株、サツキ、サザンカの植栽を行いました。

(イ)湧池、せせらぎ等の池清掃を公社職員により実施するとともに、管理の向上を図るため専門業者による清掃も行いました。

(ウ)従来シルバー人材センターで行っていた藤剪定を、専門家である造園協会への委託に切り替え、管理の質を高めました

③定期的な園内巡回による安全安心な管理について

園内及び遊具の巡回点検を適宜実施し、不具合箇所の早期発見及び修繕を行うなど安心安全な公園管理に努めました。

④施設の計画的な修繕について

(ア)各施設の経年劣化した設備備品の修繕、更新を行いました。

(イ)園内各種看板の更新を行い、来園者の利便性向上に努めました。

⑤キャビン・バーベキュー広場での利用方法の更新について

利用者要望を取り入れて変更したバーベキュー貸出備品の周知を図り、利用者の利便性向上に努めました。

⑥イベント等への協力について

(ア)ネーブルパークで実施されたイベント、さくらまつりや菊まつりの各実行委員会へ参加するなど、積極的に協力しました。

(イ)関東ドマンナカ祭り、はなももマラソン、周辺学校などへの駐車場協力を行いました。

⑦利用者拡大について【平成館】

(ア)企業等に対して、5月にはインターネット環境向上のおしらせ、10月には宿泊パックの案内をそれぞれダイレクトメール(DM)で発送しました。また、初めての試みとして10月に菊まつりのレストラン一般開放チラシを近隣福祉施設にDMで発送し、利用促進に努めました。

(イ)期間限定宿泊パックにつきましては、菊まつりパック(10/27~11/23)、クリスマスパック(12/1~12/25)、つどいパック(1/24~2/28)を引き続き実施し、前年度に対し7件220人増、78件633人の利用を得ました。

⑧衛生管理について【平成館】

施設清掃専門業者の他、職員による日常的な清掃を行い、清潔な環境づくりに努めました。また、レジオネラ菌の繁殖防止につきましては、浴槽の管理において塩素による水質管理、ヘアキャッチャーの清掃など防

止マニュアルに添って水質管理を徹底し、レジオネラ菌による事故の発生予防に努めました。また、食中毒の発生防止につきましては、来館者への手指の消毒案内、調理者の手洗い等の徹底、衛生点検管理表を使用した定期確認などを行いました。

⑨館内照明のLEDへの更新について【平成館】

老朽化した館内照明を、適宜LEDへ更新しました。

⑩レストランの一般営業について【平成館】

ゴールデンウィーク中（5/3～5/7）の営業で186千円、菊まつり期間中の営業で237千円、合計423千円の売上となりました。

(3)ふるさとの森管理運営事業

①通常営業について

各施設における利用状況は、次のとおりとなりました。

(ア)バーベキュー広場

受託初年度でありましたが、古河市広報誌への施設案内掲載（2回）、またネーブルパークとの連携により、古河市管理の前年度利用件数に対し99件で約2倍増、利用料については104千円で約1.6倍増となりました。

(イ)行為許可（芝生広場等）

本年度より、条例に伴う行為許可料金徴収業務を行い、軽食販売・イベント開催により10件、14千円の申請・利用がありました。

②ふるさとの森リニューアルプランについて

本施設の芝生広場における「ドックラン施設」開設に関する専門家による現地調査を行い、施設の概要及び開設費用などについて、古河市担当課へ提案を行いました。

③定期的な園内巡回による安全安心な管理について

園内及び遊具の巡回点検を適宜実施し、不具合箇所の早期発見及び高木・枯木処理、修繕を行うなど安全安心な公園管理に努めました。

④経年劣化した施設の計画的な修繕について

(ア)各施設の経年劣化した設備の修繕や備品の更新を行いました。

(イ)園内の案内看板を新設し、来園者の利便性向上に努めました。

⑤イベント等の協力について

ふるさとの森で実施されたイベントについて、円滑に開催できるよう積極的に協力しました。

(4)中央運動公園温水プール管理運営事業

①通常営業について

利用者につきましては、前年度より4,040人増の58,104人でありました。内訳として、プール利用者が9

割を占め、その他の利用者（多目的室、会議室）が約 1 割となっています。利用料につきましては前年度より 1,441 千円増の 14,330 千円となりました。利用料のうち、教室参加料につきましては、前年度より 376 千円減の 1,182 千円でありました。また、水泳授業指導事業及びテレビ撮影に伴うコース占用料は前年度より 1,273 千円増の 1,858 千円でした。利用促進企画としましては、幼児、小中学生の利用拡充を目的とした「夏休みキッズポイントカードキャンペーン」を実施しました。

②「水泳教室」「スポーツ教室」について

前年度に引き続き各種教室を実施しました。内容は、定期水泳教室 59 教室延べ 589 回、多目的室を利用したヨガ教室、リズム体操教室 7 教室延べ 58 回、オープンチャレンジ教室 5 教室延べ 223 回で、計 15,611 人の利用者を得ることができました。

③施設の維持管理について

水道水の過剰使用の要因であったプール水関連設備の不具合や、ウォータースライダーの劣化箇所など、次のとおり修繕を実施いたしました。

(ア)子供プール、着水プール兼用循環濾過器切替弁の修繕を行いました。

(イ)強制シャワー用電動ボール弁の交換修繕を行いました。

(ウ)可動式上屋開閉スイッチの交換修繕を行いました。

(エ)ウォータースライダー階段床面の塗装修繕を行いました。

(オ)ウォータースライダー滑走面の修繕を行いました。

(カ)男子更衣室トイレのドア修繕を行いました。

(5)斎場管理運営事業

①通常業務について

利用件数につきましては、火葬利用が919件、式場利用は373件となり、前年度に対して火葬利用は10件減、式場利用は3件増となりました。利用料収入は、18,308千円で前年度に対して85千円の増となり、賄い飲食物等の売上げにつきましては、前年度より4,035千円の増となりました。内訳は飲食物売上が1,574千円、生花売上が2,461千円の増です。

②遺族に配慮したサービスの提供について

特に収骨の際の丁寧な説明を心がけるとともに、各室の準備や片付け等、また冷暖房の適度な調整などに配慮しながら実施しました。

③施設の維持管理について

経年劣化などに伴う不具合修繕を、次のことについて実施しました。

(ア)待合室(洋室)のパッケージエアコンを交換しました。

(イ)ロビー上部排煙窓及び小式場の雨漏りの修繕を行いました。

(ウ)火葬炉(1号機)の温度センサーを交換しました。

(エ)給湯器の温水弁を交換しました。

(オ)北側道路横の芝を一部張り替えました。

(カ)大規模な改修及び備品の更新について古河市へ要望(提案)をしました。その結果、待合室テーブル及びワゴンの修繕と、和式トイレから洋式トイレへの改修を古河市が実施しました。

④食中毒、防災対策の徹底について

食中毒を予防するための手洗いの励行、清掃の徹底、抗菌スプレーの使用などに努めました。また、防災対策については、日常点検を励行するとともに、防災訓練を実施しました。

3.受託事業

(1)緑化推進啓発事業

生垣設置費補助8件

(2)市内公園管理事業

市内公園等103箇所の管理

害虫駆除、ごみ収集、剪定、除草、遊具点検、砂場の砂補充等を実施しました。

(3)水泳授業指導事業

中央運動公園温水プールにおける水泳授業指導を実施しました。

(ア)下大野小学校 延べ60回 1,547人

(イ)総和北中学校 延べ21回 532人

(ウ)水海小学校 延べ30回 833人

(4)中央運動公園受託事業

利用者窓口業務及び施設の維持管理に努めました。

窓口処理件数18,197件

(5)古河体育館受託事業

利用者窓口業務及び施設の維持管理に努めました。

窓口処理件数2,596件

(6)菊花育成受託事業

各種菊の育成、菊まつり時の水やりや清掃などを行いました。